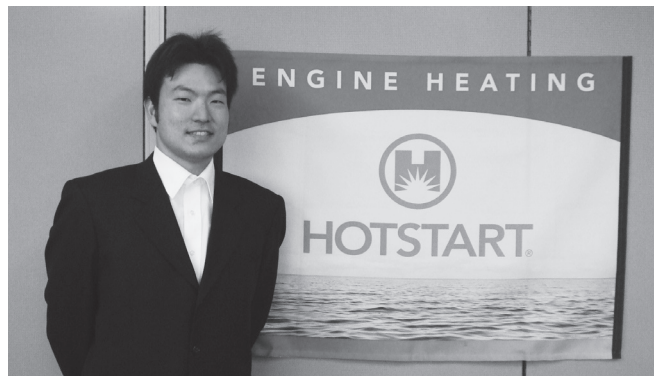


世界を代表する「予熱ヒーター」メーカー

ホットスタート アジアパシフィック合同会社

今回は発電設備向け予熱ヒーターの世界を代表する米国企業「ホットスタート (HOTSTART, Inc.)」の日本法人を取材した。今年1月に開設された日本法人は「ホットスタート アジアパシフィック合同会社 (HOTSTART Asia Pacific, Ltd.)」。住所は東京都文京区本駒込6-1-10 高田ビル4F ☎03-6902-0551。代表者は中村 光臣 (なかむら・みつおみ) 代表執行役員。今後、アジア太平洋地域のニーズを吸い上げ、アジア太平洋の予熱ヒーター及びサーモスタットなどの電装機器産業参入を後押しする。

米国では企業の社会貢献の一環としてボランティア活動が盛んである。ホットスタート社は昨年3月11日の東日本大震災を機に米国ワシントン州で「復興祈願Tシャツ」を制作・販売し、これまでに、売上金約300万円を被災地の自治体へ寄付した。発起人は日本法人代表を務める中村 光臣氏。中村氏の声が、米国の本社及び地元自治体に加え、従業員及び地元住民や、阪神淡路大震災を経験した出身地の兵庫県自治体を動かした成果である。ホットスタート アジアパシフィック合同会社を紹介する。



中村光臣代表と会社ロゴ

予熱ヒーターとは寒冷地などの過酷な使用環境の中でエンジンが停止状態からスムーズに始動できるよう、停止中に予めエンジンシステム内に暖気を循環させて保温する予熱装置のことである。

燃料消費削減に貢献する予熱ヒーター

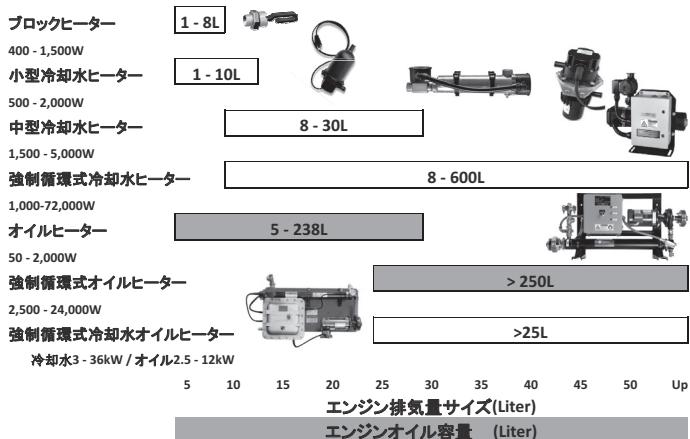
1970年代以降、米国では例えばディーゼル機関車には停車中のアイドリングストップを義務づけるなど、エンジンからの排出ガス削減につながる様々な措置が講じられてきた。エンジンシステムの確実な始動を担保するため、エンジンを予熱するヒーター市場が急速に拡大し、中でも、最先端技術を駆使したホットスタート・ブランド製品は北米市場に加え、世界的な環境意識の高まりを受けて新たな需要が創出された欧州市場も席卷していったという。

ホットスタート社は高性能な予熱ヒーターの供給を通じて生活環境の改善に貢献する一方で、結果として燃料消費削減の技術革新を促した。2002年、EPA (米国環境保護庁) から「燃料消費削減推進企

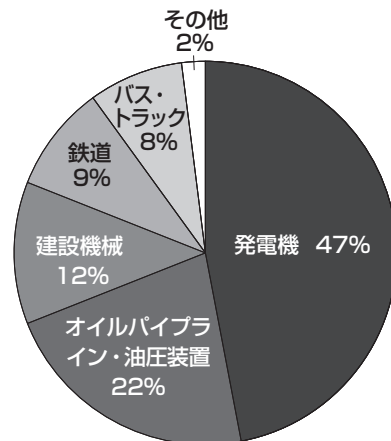
創業の経緯

ホットスタート社は1942年、「予熱ヒーター」の専用メーカーとして設立された。設立以来、本社及び本社工場は米国西岸のワシントン州のシアトルに次ぐ第2の都市スポケーン市に置き、ディーゼルエンジンやガスエンジンで駆動する発電設備のほか、建設機械、トラック、鉄道車輛、船舶、オイル及びガス油圧装置、バッテリー、燃料タンクなどに装着される予熱ヒーターとアクセサリの一貫した自社生産を行い、相手先にOEM供給を展開している。

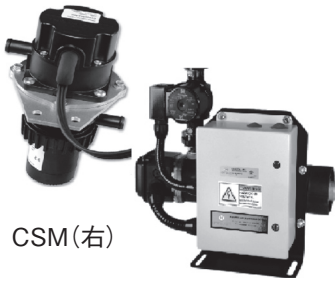
アプリケーションモデル



売上高の構成比(2009年)



1. 小型強制循環式クーラントヒーター



CTM(左) CSM(右)

製品タイプCTM-CSM (1kW-12kW/100-690v, 単相・三相仕様) サーモスタット制御付き。ホットスタート本社が積極的にプロモーションしている製品モデルです。発電機・建機・船用で採用されています。小型ポンプにより強制的に冷却水を循環しながら予熱します。

2. 小型自然対流式クーラントヒーター

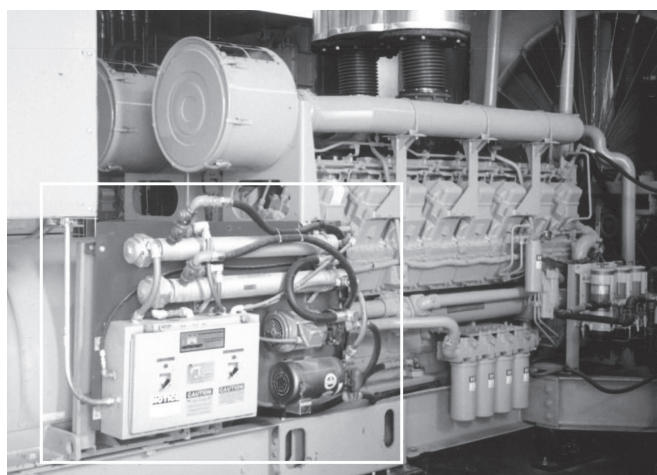


製品タイプTPS (500W-2kW/100-240v, 単相仕様) サーモスタット制御付き。ホットスタート社で出荷台数No.1の製品モデルです。発電機・トラック・建機など幅広い業界で採用されています。年間生産台数は10万台以上。

3. 差込み式ブロックヒーター



製品タイプIn-Block (400W-1.5kW/100-240v, 単相仕様) 小型エンジンのシリンダブロックに直接取り付けます。発電機・建機・トラックで主に使われます。



大型エンジンに装着された冷却水・オイルヒーター

米・スポーケン市

Tシャツ作り義援金

西宮市の胸に「共に生きよう」
姉妹都市の胸に「共に生きよう」

東日本大震災の被災者へ。提携50周年に
を支援し、西宮市 合わせて5月20日から渡
の姉妹都市である米ス ポーケン市訪問団の
ポーカー市側がTシャ ツメンバールも、現地の春祭
ツを作り、売上げを義 里会場で販売に協力す
援金として送る活動をしる。

「Tシャツはオリジナル
デザイン。連帯のメッセ
ージとして、胸に日本語
と英語で共に生きよう
と記載。日本に愛と希望
を贈る意を含めて、背中
に「LOVE JAP
AN」HOPE 2
JAPAN」とプリント
したる種髪用意してい
る。

4月から売り出し、既
に約1千枚を販売。5月
1日にスポーケン市で開
かれた金曜大規模のマ
ラソン大会「フルマ
ソン」でも、このT
シャツで参加する市民の
姿が見られ、約200枚
が売り切れたという。
西宮・スポーケン姉妹都
市協会の中原朗裕会長
は「温かい支援を感
動した。今後も交流を一
層深めていきたい」と話
している。Tシャツは西
宮市国際交流協会でも今
月末から1枚1500円で
販売予定。同協会 ☎
798-32-8680
(火曜休館)

2011年5月13日付け神戸新聞

業」として最初の助成金対象企業に選出された。

現在、本社及び本社工場は敷地面積11,200㎡(約3,400坪)にまで拡張、高品質を追求した予熱ヒーター及びサーモスタット、ハーネスアクセサリなどの電装品を開発・製造し、世界各地の発電設備メーカー、建設機械メーカー、プラントメーカー、車輛メーカー、造船メーカーといった



ホットスタート社の慈善活動に対してスポーケン市長から贈られた顕彰状

ユーザー向けにOEM供給を行っている。経営ビジョンとして、「エンジン予熱業界において認められたナンバーワンになる」ことを掲げている。現在、従業員数は185名、欧州・中東・アジア・アフリカにある現地法人や代理店を合わせたグループ全体の売上高は2011年(暦年)に43億円を超える見通しである。

ホットスタート アジアパシフィック社

日本法人のホットスタート アジアパシフィック社では「営業エリアは東西がインド～日本、南北がロシア～ニュージーランドの広範囲に渡り、積極的な売り込みを図っていく」(中村代表談)。世界を代表する「予熱ヒーター」のトップランナーとして豊富な納入実績と高品質な製品ラインアップを武器に、エンジン式の発電設備、建設機械、産業機械、船舶、鉄道車輛、自動車などの世界的なメーカーが集中する日本市場に加え、インドや中国など経済発展が著しいアジア新興国市場において、機械、電気機器、輸送機器、石油・化学装置などのメーカー、プラントなどを手がけるエンジニアリング企業を対象に新規顧客を開拓してシェア拡大を図っていく。